

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

7月号



Yamaga City Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)

第32回 鹿本地域緩和ケア研究会

令和8年5月26日に第32回鹿本地域緩和ケア研究会が、山鹿市民交流センターで開催されました。平成19年から始まり今年で19年継続されており、医療圏の医師会、歯科医師会、薬剤師会、熊本市立植木病院と山鹿市民医療センター等8団体が会員となり、鹿本地域の緩和ケアの充実を図っています。



今回は、くまもと在宅クリニック院長の阿部 真也先生より「在宅医療 自宅での緩和ケア」というテーマでご講話いただき47名の参加がありました。

在宅医療は通院が困難な患者さんを対象とした生活を支える医療であり、多職種とMCS（メディカルケアステーション）を活用しリアルタイムに連携を図っていることや、在宅でできる検査や治療、病院での医療との違いについても述べられました。

また、在宅緩和ケアの特徴として、急変時などタイムリーな対応が難しく、患者さんやご家族の不安

が強いことや、24時間体制の医療提供の維持に問題を抱えているということでした。患者さんの「不安だけど家に帰りたい」というような、揺れ動く気持ちに伴走しながら、その人らしく生きることを支援されています。自宅での療養の継続にこだわるのではなく、その時一番安心できる場所が最善であり、自宅で亡くなるための医療では無いということを伝えられました。



現在、地域医療構想の実現へ向けて病床削減されていく中で、がんを含む慢性疾患や難病をかかえ、通院が困難な症例が増えています。在宅診療と病院のシームレスな連携が重要であり、在宅で嚥下困難になった場合の医療用麻薬の投与選択や、意思決定支援で気をつけているとのことでした。

会場より慢性疾患のDNARの同意を得るタイミングについてなど多数の質問があり、大変興味深く学びの多い機会となりました。さらに「患者さんの迷いに寄り添い続け、医療者が喋り過ぎず聴くことを大切にしている」という言葉が印象に残ったという感想も参加者から多数いただきました。

これからも、この緩和ケア研究会で多くの学びを得ながら、地域の緩和ケア医療に貢献していきたいと思っています。

(緩和ケア認定看護師 田中 由紀)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

福祉ネイル開催について

福祉ネイルとは、病气療養者や高齢者の方を対象に、爪のお手入れやカラーを通して気分転換・QOL向上につなげるケアです。がん治療により、爪が割れやすくなったり、変色したりするなどの外見の変化を生じることがあります。こうしたアピアランスケア(外見のケア)の問題は、患者さんの心理的苦痛や自尊心の低下につながる場合もあります。国の「第4期がん対策推進基本計画」においても、アピアランスケアの推進が示されており、外見の変化に伴う苦痛への支援体制の整備が求められています。

3月13日に、山鹿がんサロン(毎月第2金曜日14時～15時、当センターにて開催)で体験会を実施しました。



参加者からは「こんなに綺麗にしてもらったのは初めて。」「自分の视界に入る手が華やかだと日々の気持ちりが明るくなる。」「治療に向き合う勇気になる。」などのお声が聞かれ、涙を流して喜ばれる方もおられました。

5月より当センターに通院・入院中のがん患者さんを対象に、福祉ネイルサロンを開設しました。福祉ネイル協会所属のネイリスト(山鹿市在住)のご協力のもと、半年間の試行期間として、月1回・3時間開催を予定しています。なお、施術にかかる費用は利用者の自己負担となります。

今後も、患者さんがその人らしく治療生活を送れるよう支援を続けていきます。

(がん相談支援センター 社会福祉士 立野 裕美)

「看護の日」イベントを開催して

5月12日は「看護の日」です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日に由来し、「看護の心」や「ケアの心」を広く伝える目的で設けられており、全国的に様々なイベントが開催されています。

当センターでも恒例行事として、今年は5月15日に医療研修センターで「看護の日」のイベントを開催しました。当日は、血圧測定、血糖測定、体脂肪測定などの健康チェック、栄養相談、リハビリ相談、がん相談、介護保険・介護施設などの福祉相談、介護用品の展示コーナーを設け開催しました。



今年は城北高校の学生さんの参加はありませんでしたが、54名と昨年より多く市民の皆さまに参加していただくことができ、活気あふれるイベントとなりました。参加者の方からは、「毎年楽しみしている」「コレステロールが高いので、健康相談があって良かった」「初めて来てみて良かった」などの嬉しいお言葉をいただき、皆さまの笑顔にスタッフも大きな元気をいただきました。これからも「看護の日」のイベントを続けていきたいと思ひます。次年度も市民の皆さまの参加をお待ちしております。

(緩和ケア病棟看護師長 江藤 千鶴)

医療最前線 (175)

橋本病(慢性甲状腺炎)についてのご案内

代謝内科長 西田 周平

橋本病は、甲状腺に慢性の炎症が起きる病気です。1912年に九州大学の橋本策（はしもとはかる）博士が世界で初めて報告したため、この名前がつけました。特に成人女性に多く、珍しい病気ではありません。

1. どんな病気？

本来、細菌やウイルスから体を守るための「免疫」が、誤って自分の甲状腺を攻撃してしまう「自己免疫疾患」の一つです。これにより甲状腺に慢性的な炎症が起こります。

炎症があっても、甲状腺の機能（ホルモンの分泌量）が正常に保たれている間は、自覚症状はほとんどありません。しかし、炎症が進んで甲状腺の細胞が壊されると、ホルモンが不足する「甲状腺機能低下症」になることがあります。

2. 主な症状

甲状腺機能が正常な場合は無症状ですが、機能が低下してくると以下のような症状が現れやすくなります。

全身の症状：疲れやすい、体がだるい、寒がりになる

顔・皮膚：顔や手足のむくみ、肌の乾燥

消化器：便秘

精神面：やる気が出ない、記憶力の低下、常に眠い

その他：体重増加、脈が遅くなる、声が枯れる

※これらは加齢や更年期障害の症状と似ているため、検査をしないと見過ごされることもあります。

3. 検査と診断

診断には主に以下の検査を行います。

血液検査：甲状腺ホルモン（FT4、FT3）と、脳から出る刺激ホルモン（TSH）の値を測ります。また、自分を攻撃する抗体（抗TPO抗体、抗サイログロブリン抗体）の有無を確認します。

超音波（エコー）検査：甲状腺の大きさや、炎症による組織の変化を詳しく調べます。

4. 治療について

機能が正常な場合：治療の必要はありません。ただし、将来的に機能低下が起こる可能性があります。

機能が低下している場合：足りない甲状腺ホルモンを補うため、お薬（チラーゼンSなど）を服用します。この薬は、もともと体にあるホルモンと同じ成分ですので、適切な量を服用していれば副作用の心配はほとんどありません。

5. 日常生活のアドバイス

食事：ヨード（海藻類に多く含まれる）の過剰摂取は、甲状腺機能を一時的に低下させることがあります。昆布だしなどを毎日大量に摂ることは控え、バランスの良い食事を心がけてください。

妊娠・出産：橋本病があっても適切なホルモン管理をすれば、妊娠・出産は十分に可能です。妊娠を希望される場合や妊娠が判明した際は、早めに主治医にご相談ください（通常より厳密な数値管理が必要になります）。

※気になる症状や不安なことがあれば、いつでもお気軽に医師へご相談ください。

第65回公開特別講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座 1 単位）

取得カリキュラムコード 番号・コード名

7. 医療の質と安全

下記により第65回公開特別講演会を開催いたします。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 橋本 尚子

山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和8年7月10日（金）19：00～

形式：ハイブリッド方式（オンライン参加or会場参加）

会場：オンライン参加 / Zoomミーティング

会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター

演題：「変わりゆく周術期医療と麻酔科医の役割」

演者：熊本大学大学院 生命科学研究部

麻酔科学講座 平田 直之 教授

司会：山鹿市民医療センター 山鹿市病院事業管理者 別府 透 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。

（参加URL）：<https://zoom.us/j/93169831556>

（参加QRコード）⇒



ミーティング ID：931 6983 1556

パスコード：994514

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします

お問合わせ先 山鹿市民医療センター
地域医療連携室 西田・今坂
TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

7月

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)～11:00

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤由比古	—	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本 英明
消化器内科	梶原 雅人	竹熊 梨祐	本原 利彦	梶原 雅人 竹熊 梨祐	本原 利彦
内分泌・代謝内科	西田 周平	—	西田 周平	—	西田 周平
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※中山 智子 清水 博	清水 博 大庭 圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 樽美 備一 松下 祥大	工藤 智志 樽美 備一 松下祥大/坂上諒明	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 坂上 諒明	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透(新患のみ) 石河隆敏 / 増田稔郎 遊佐俊彦 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 増田 稔郎 遊佐 俊彦
乳腺外科(予約制)	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村 圭輔	手術(担当医)	今藤 淳之助	※神波 大己 教授	中村 圭輔
小児科	小澄 将士	小澄 将士	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ★※石井真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後診療は、16:00受付終了					
耳鼻咽喉科(予約制)	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	手術	特殊再来のみ	古島 京佳	古島 京佳	古島 京佳(午前) ★非常勤医師(午後)
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00～16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00～16:00) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00～16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科(予約制)	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	泌尿器科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来【予約制】

7月

◎特殊・専門外来の診療時間等詳細については、各診療科にお尋ねください。

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法	担 当 医	毎週 火曜・水曜	各 診 療 科
	※ 宮 本 英 明	毎週 金曜（がん薬物療法専門医）	
小 児 科 予 防 接 種	小 澄 将 士	毎週 水曜（受付時間13:30～16:00）	Aブロック
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜（午後）	Bブロック
P E G 外 来	担 当 医	毎月 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります

◆4月から担当医師や非常勤医師の勤務体制が変更となっております。

◆最新の担当医表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター



〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL 0968-44-2185(代)
 FAX 0968-44-2420(代)
 FAX 0968-44-0071(連携室直通)
<http://yamaga-medical-center.jp>